

## 投票者が10名まで戻ったFOMC リバースレポなど焦点に ～米連邦公開市場委員会

2014年6月16日(月)

今週17日、18日に米連邦公開市場委員会が開催されます。  
基本的にはこれまで同様100億ドルのテーパリング(国債および資産担保証券の買い入れ縮小)が実施されると見込まれています。  
この見通しは市場でほぼ一致したものとなりサプライズ要素は少なそうです。  
そうした中、市場の注目は、FOMCの経済見通しの発表とイエレン議長の会見  
さらには、会合内での論戦ポイントとしては、リバースレポの取り扱いと利息分の再投資といったところになりそうです。

FOMC後の議長会見とFOMCメンバーによる経済見通しの発表は  
年8回の会合のうち、半分の4回で実施されます。  
前回は3月18-19日のFOMCで実施されました。  
イエレン議長にとって議長就任後初めてとなったこのFOMCでの会見で  
テーパリング終了後から利上げまでの相当な期間について  
半年程度と発言して、市場を驚かせたのがこの回です。

その後の議会証言、講演などの状況から  
サプライズ的な発言がどこまで期待できるかというところではありますが、  
スケジュールどおりであれば10月28-29日のFOMCでテーパリングが終了する中で  
今後の出口戦略への姿勢などについて  
議長が会見でどのように語るかは注目されるどころです。

また、FOMCメンバーによる経済成長見通しに関しては  
このところの景気回復動向にあわせ  
利上げ見通しの前倒しがあるかどうか注目です。  
政策金利(FF金利)の誘導目標について  
3月時点では、15年末時点で1%となっていた予想中央値がどこまで変化するかなどに注目したいところ。  
また、インフレ見通し引き上げなどがあると  
早期利上げ期待に繋がって、  
ドル高を誘う展開が見られそうです。

また、このところ話題になっている点が二点あります  
一点目はリバースレポの取り扱いがあります。

昨年9月から試験的に運用されているリバースレポについては  
年内にはテストが完了し、  
来年からは本番実施が可能となるとみられています。  
同施策は利上げ局面で重要な政策手段として機能するとみられるだけに  
実際の本番スタートまでにはまだ猶予がありますが  
その取り扱いについて、FOMC内で意見が分かれていると見られるだけに  
どのような形で議論が進むのかが市場の注意を引きそう。

金融政策の実施を担当するNY連銀のダドリー総裁などは  
当初予定されていた無制限割り当て方式ではなく  
金額条件を設けることなどを主張します。  
こうした主張が跳ね返され  
当初どおり無制限割り当てが決定されると  
米国の短期金融市場が少し混乱する可能性があります。

もうひとつの焦点ですが  
償還が来た保有債券の再投資についてです。  
4.3兆ドルまで膨らんだ米FRBのバランスシートについて  
早期の縮小を目指した再投資を取りやめるか、  
急速な変化を起こすことを危惧して、  
再投資を実施するか  
FOMC内のタカ派とハト派で意見が分かれている様子。  
再投資を取りやめると  
利上げ期待が急速に強まって、  
一気にドル買いが入る可能性があるだけに要注意です。

どちらも決定を迫られるまでには時間があるだけに、  
議論の動向は会見などでどこまで  
会見などでどこまで示されるかといったところでは

なお、先週12日に米上院がFRB副議長を含む3名を承認したことで  
今回のFOMCから投票者が10名となります。

(前回までは8名、3名のうち一人は再任)

定員は12名(議長・副議長含む理事7名、常任のNY連銀含む地区連銀総裁は持ち回りで5名)ですが  
残り2名の理事については、とりあえず名前の候補自体が出ていませんので

当面はこの10名で投票という形となりそう。

今回のFOMCから加わるフィッシャーFRB副議長(ダラス地区連銀のフィッシャー総裁とは別の方)と  
ブレイナード理事は共にハト派と見込まれており

これまでよりもややハト派に振れるFOMCとなりそうです。

株式会社インベストックは信頼できる情報をもとに本資料を作成していますが、正確性・完全性について株式会社インベストックが責任を負いません。  
本資料は、情報提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。  
本資料に掲載されている情報の著作権は株式会社インベストックに帰属し、本資料に掲載されている情報を株式会社インベストックの許可なしに転用、複製、複写することはできません。  
© 2014 Investech K.K. All Rights Reserved.